

もりもり通信

2023年 春号



八王子市議会議員

森ヨシヒコ 市政報告

(森ヨシヒコ後援会報)



森 喜彦（もり よしひこ）1981年生。私立海城高等学校、東京都立大学法学部卒業。八王子市職員を経て2019年より八王子市議会議員（無所属・1期目）。総務企画委員、長期ビジョン特別委員、学園都市文化ふれあい財団諮問委員、表彰審査委員長を務める。清川町在住。

地域ので八王子を元気に つくりよう 市民自治の豊かな社会

はじめに

今議会の会期末に「安保3文書改定の撤回を求める意見書」が提出されました。

私が取り組んできた政策活動の一つである「自治と平和」。その主張のもと、賛成討論を行いました。

「新たな戦前」という言葉がリアリティを持ち始めていると感じるニュースが相次いでいますが、一人の政治家としてそのような時代に絶対にしてはならないと思います。敵に攻撃を思いとどまらせる目的で相手に届くミサイルを並べることが果たして抑止力になるのでしょうか。むしろ、他国との緊張と軍拡競争をエスカレートさせ、戦争へのリスクを高めます。本来市民の命と暮らしに使われるべき税金が、それらを破壊するためにしか使えないミサイルなどに湯水のように使われるのも言語道断です。もし他国との衝突が起きれば、横田基地や神奈川県、米軍基地などに接続する国道や鉄道が集積している八王子市も現場になります。戦争は中央集権的に行われるものですが、地方自治とは相容れないものです。意見書の提出は自民党・公明党・市民クラブの反対により否決されてしまいましたが福祉と平和は地方自治の原点です。平和外交を自治体から支えて

いく努力は怠ってはならないと思います。

討論の中で、俳優の菅原文太さんの言葉を紹介しました。「政治の役割は二つ。国民を飢えさせないこと、もう一つは、これは最も大事です。絶対戦争をしないこと。」誰もが安心して平和に暮らせて、居場所と出番のある寛容な社会を作っていくために引き続き頑張っていきますので、変わらぬ応援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

八王子市議会第1回定例会

第一回定例会は2月22日から3月29日の日程で開催されました。

主な議題は2022年度予算の補正、新年度から施行される条例、新年度予算などです。感染症対応、防衛費の増大などで、国予算が過去最高規模となる中、八王子市の一般会計も過去2番目の規模となる2173億円を計上しました。財政規模は年々拡大傾向ですが、今後は歳出に歳入が追いつかず、4年間のうちに64億円が不足する見込みです。

自治体の運営の自由度を高めるために、歳出に占める割合が高い義務的経費を削ろうという意見もあります。しかし、義務的経費の内容は自治体の借金返済、法令に定められた福祉に要する費用などが大半です。人件費も他の中核市より低く抑えられているため、義務的経費の圧縮には限界があります。その他の歳出や、歳入面の対策が求められています。歳出面で気になるのは、委託をはじめとした事業のあり方です。近年、市が新たな事業を行う場合、サービスを提供してくれる民間企業と契約する手法



がよくとられます。最小の経費で最大の効果を得られるよう、検討し発注するのは市ですが、そうしたチェックには現場ノウハウの蓄積が必要です。蓄積がない新規事業や、長年委託を続けたことで現場目線での効果検証が不得手になった分野では、そうした作用が働きにくくなります。また、近年は様々なサービスがデータ化され、インターネット等を利用します。学習用タブレット端末、キャッシュレス決済、マイナンバーカード、挙げればキリがありませんが、利便性と引き換えに新たな固定費が生じています。携帯電話をイメージしてもらえれば分かりやすいかもしれませんが、システム費用、端末使用料、決済手数料など、サービス利用・維持にかかる費用の積み上げは馬鹿にできません。

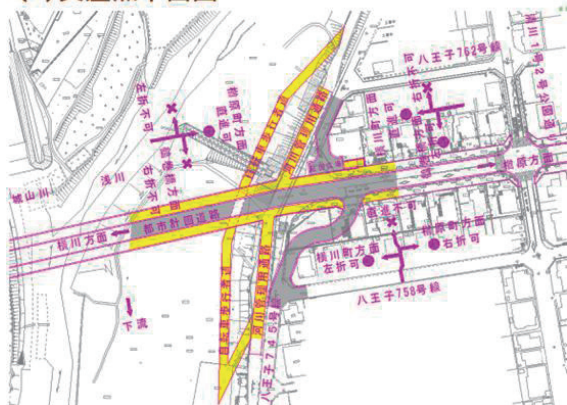
歳入面では税収を増やす仕掛けが重要です。地元中小企業等の応援、地域雇用の充実や、保育・介護の現場の人手不足の解消等により、市民が安心して働きに出られて、安心してサービスを利用できるような環境を作っていくことが必要です。

そうした視点から予算委員会の総括質疑に立ち、物価や賃金が高騰する中での自治体経営の考え方、政策立案能力の向上に向けた人材育成、介護人材確保、子育てひろばの相談機能充実などについて質問しました。

都市計画道路・御陵甲の原線

滝山街道から長房町に至る「御陵甲の原線」、浅川を越えて清川町と横川町を繋ぐ橋の早期建設が期待されています。2019年11月、市は住民説明会を開き計画を示しましたが、以前より清川町自治会が提出していた要望書に沿ったものではなかったことから、地域の町会・自治会らが構成する建設協議会にて3年間にわたる話し合いが行われています。

(4)交差点平面図



市の計画と要望書で隔たりが大きいのは、橋と既存道路（清川町側）との接続部（交差点）の形状です。浅川に沿って東西に走る道路に対し、南北に橋がかかれば、現状丁字路の道路が十字路になると期待されていましたが、市の計画は南北と東につながる丁字路になり、西側（浅川上流方向）へのアクセスは失われています。

十字路にしない主な理由は交通事故防止です。

橋は川の増水を考慮し、高い位置に設置するため、橋と既存道路には高低差が生じます。橋と道路の間は坂になりますので、車や自転車のスピードの出しすぎや、見通しの悪さで事故が起こりやすくなります。勾配を緩くするために橋を薄くするなどの対策も考えられますが、十字路を設置できる程に安全な勾配とならないことから、丁字路の道路と箱桁構造の橋が採用されています。

交差点形状による近隣の生活環境変化など問題点はありますが、これらを根本的に解決する法的・技術的な方策が現実的でないこと、新たな橋の建設は市内交通環境や生活環境の改善に大きく寄与することなどから、市はスピード感をもって住民合意を得て、1日でも早い開通をめざして欲しいと考えています。一方、橋や道路の開通に伴う通過車両の増加、通学路やバス停設置に関する問題などは、地域の声が反映するよう、関係所管と協議をおこなっていく必要があります。私も地域の声を受け、引き続き活動して参ります。

写真で振り返る直近の活動

街角で市政報告などを行っています。お声がけください。見かけたらぜひ声をかけてください。（写真左は朝霞市の黒川市議、右は須山たかし都議）



ホームページでの発信も行っています。

ニュースに対するご意見や感想、市政相談は下記まで気軽にお寄せください。後援会の加入、ポスター掲示の御協力、ポスティングなどのボランティアも随時受付しています。

発行・問合せ先：森ヨシヒコ後援会
〒193-0804
東京都八王子市清川町19-10
Tel: 070-5580-6844
Fax: 042-698-5013
Email: info@moriyoshihiko.net
WEB: <https://www.moriyoshihikohachioji.com/>

